

みなしご通信



「売られる犬」の悲惨な現状

平成24年までは繁殖できなくなった犬（通称・廃犬）やペットシヨップで売れ残った犬は保健所&センターに連れて行き《処分》してもらっていました。ところが動物愛護法の改正でセンターでの《処分》ができなくなったため、ペットシヨップは「さあ困った」。

そこへ新しい商法として「廃犬」や売れ残った犬を1〜2万円の安価な料金で引き取って世話もせずに放り投げて「あら死んじゃった」みたいな悪質な【引き取り屋】なるモノがわいて出て来ました。私が知っている範囲でも引き取り屋は栃木県や埼玉県にもいますし大阪府内にもいます。クソみたいなヤツらです。そこに繁殖屋や増殖屋が群がりA犬舎では廃犬だがB犬舎ではまだ使える…と散々使われて来た犬が引き取り屋によってさらに劣悪なところに転売され死ぬまで産まされまます。これが日本の実態です。

私の知り合いの中にはその引き取り屋からコンスタントに犬を引き出して譲渡している人がいます。犬猫みなしご救援隊はその子たちの医療のお手伝いをしていきますから内部事情もわかりますしボロボロになった犬の姿をこの目で見てはハラワタが煮えくり返っているのです。年に10万匹もの尊い命が殺処分されている日本で繁殖なんてしないで結構！私に言わせれば無駄な命をなくすためにすべての犬に不妊手術を施すべきで、不妊手術は飼い主の義務にして欲しいぐらいで



胸の巨大腫瘍を切除

胸に大きな腫瘍をぶらさげていたりんたろう。保護当時の体重は22・5キロ

|| 写真右、まず体づくりを優先。3週間後、体重は30キロになっており皮膚の状態もよく被毛もええ感じに || 写真左。小走りするようになっていました。そこで先日腫瘍を切除。予後は良好です。重さは1・9キロ。体重50キロの人が4キロの腫瘍をぶら下げている。

たようなもんで、重かったでしょうよ。『起きたら驚くじやろうねえどくゆる態度をするかね?』と言いなから覚醒を待ちました。が、普通でした(笑) さらに俊敏になったかな。さすがレトリバー種、犬舎に近寄るとちぎれるほどシッポを振ってすぐに立って来ます。回復も早いのでこのまましばらくしたらパドックで遊ばせられると思います。

す。繁殖屋が別々の犬種をかけ合わせMIX犬としてペットシヨップに売ったが売れ残ってしまい引き取り屋に渡ります。引き取り屋の手に渡った子にはさらなる不幸が待っていて、増殖屋が安価な金額で買い取りMIX犬にMIX犬をかけたぐちやぐちやの血にして【ハイブリッド犬】とかの名前をつけ再び市場に出されるのです。するとおバカな消費者がW繁殖された子を喜んで購入するのです。お願いです。本気で考えてください。

トイ・プードルとダックスをかけ合わせた椎間板の弱い子にポメラニアンとキャリアをかけた合わせた心臓の弱い子かけ骨の弱い心臓に問題がある犬を排出しているのです。種を作っているのは唯一神様だけ。MIX犬は決して買わないでください。クソたちは儲からなければやめます！コーギー×シュナウザー、ヨーキー×チワワ…。彼らの声が聞こえますか？「ボクは死ぬまで足の骨が痛いんだ」「ボクは普通に生まれたかった」。



【イタチ参上】「ぼく石松です！イタチは凶暴だとか臭いからって世間では嫌われているけど、悪気はないんだよ。ただ生きてるだけ」。昼間は新聞紙の中から出て来ません(笑)。目は見えてない気がします。夜中に近づいても別の感覚で私の存在に気付く感じ。イタチは相当な弱視なのかも…です。ね。

3号バス完成

みなしごバス3号いよいよ完成したのでお披露目します**写真上**。今回のバスは新車なので椅子も床もすべてオーダー。前回のバス同様、エンジンを切っても大丈夫のように外部から電気を引ける配線になってるので生活するには便利でエコです。シートカバーのみなしごマーク**写真上から2番目**は大阪日野の営業の背の高いお兄ちゃんからのサプライズ♪私が喜びのは当然ですが普段は感情を表さない田原君が喜んでいてちょっと意外でした。

みなしごバスには人間を乗せる目的はないので後部の座席はナシでオーダー。この座席のないスペースに一級大工が猫サロンや山羊スペース、猿スペースなど造作するわけですが新しいバスがよほど嬉しかったのでしよう。一級大工さんは毎夜10時近くまで作業していました。

5日かけて内部造作が完成♪手前の三方を囲まれているところが猿スペース**写真上から3番目**この美しさがいままでモツのでしょうね。奥が猫サロン**写真一番下**で、前回同様非常口からケージごと搬入できません。今回はクレイトを置くスペースにあえて段を作りました。この上にクレイトを置くと掃除がラクなんです。で、この段の下にはサンダーハウス状に犬が入れるようになっていて雨や雷でユキが狂っても大丈夫な設計にしています。

また脳神経障害がある子が来ました。20年前はこんなじゃなかった。10年前もここまではなかった：野良猫が棲みにくい世の中になり、ここ10年猫が受けるストレスは相当なものになりました。プラス危険が多すぎて生まれた息子(オス猫)が母親の元を離れられずに近親交配が進みました。だから脳神経だけでなく血小板の減少など不具合を持つて生まれる猫が増えていると私は考えています。ちまたで増えている白猫やシヤム系クリームやグレーなど色素の薄い毛色

引き取りながら先に進んできます。プラス問題が起きた時にスタッフではお世話ができない犬4匹とスタッフの手を焼く山羊のこゆきとニホンザルのあきらとかも同行。なので一級大工の田原さん！いかにだいに作業してもこの姿はあつという間にさいならくじやと思うよ(笑)

生きられぬ猫

青い目：すべて近親によるものです。センターに収容された猫の全頭引き出しをするまで私の考えは甘かった…。『引き出せば生かすことができる』と本気で思っていました。が、半数が余命いくばくもない状態なのです。私の考えは変わりました。『誰も助けんのなら私が助ける』から『私が最後まで最善を尽くして看取る』。よもやこんな気持ちになるなんてね。助けたくて生かしたくて全頭引き出しを始めたのに、収容される猫はこぞって状態が悪い…。『私が全頭引き出して殺処分を阻止する』『私がいる限り広島中の猫は殺させない』…。世の中甘く見過ぎていて、たまに自分に腹が立つことがあります。

今後の予定

- 9月30日&10月1日
- ||ちゅーピーまつり▼5日
- ||埼玉県北本市講演会▼6日
- ||山形県置賜郡講演会▼15日
- ||栃木拠点TNR

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる



かざして募金



JAPAN GIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。